テレビ番組表からみた現代社会の諸相（その５）

現代社会の総合理解のために

伊佐治大陸

Aspects of Modern Society Viewed from the Angle of TV Programs (5)

For All-Round Understanding of Modern Society

Tairiku ISAJI

はじめに

わが国でＴＶ放送が開始された頃，人々は街頭ＴＶの前に群がりブラウン管の映像に喰い入っていた．そして30年，今や生活の一部となったＴＶは年相応に成熟し，乱熟時代さえ迎えつつある．'53（昭和28）年２月のＴＶ本放送開始当時885台に過ぎなかった白黒ＴＶであるが，現在では保有台数は3000万台を突破し，一家に２台のカラーＴＶ時代となっている．わが国では，現在全国に６つ（NHK，NTV，TBS，FUJI，TVAsahi，TVTokyo）のネットワークが張りめぐらされ，各ネットワークの系列化が進んでいる．名古屋地区でも'83年9月１日から民放TV局としては５番目であるTV Tokyo系の「テレビ愛知」（UHF25ch）が開局した．名古屋地区もこれで６つのＴＶネットワークが全て揃うことになり，新聞のＴＶ番組欄も一段と賑やかさと多様性を増すことになった．

今年はＴＶ開局30周年という一つのエポックの年である．ＴＶ育ちの世代が日本の全人口の過半数を占め，茶の間のＡＶメディアとしてのＴＶは生活必需品化，日常化している．このことは30年前には予想もつかなかった一つの「力」であり，脅威ですらある．ＴＶは茶の間で日常性の威力を発揮し，現代社会の盲点としての老人の孤独や文化の過疎を埋める効果さえはたしている．ＴＶ日常化時代の今日では，ブラウン管から飛び出した「流行語」も少なくない．また，良きにつけ悪しきにつけ若い世代の口ずさむ歌や身のまわり品，ファッションの殆んどはブラウン管からの影響が圧倒的である．こうして，ＴＶは多量の情報と多様な映像を人々の前に提供し，平均的日本人は日々それらを「真棉」のように吸い込んでいる．これら様々な玉石混交のＴＶ番組の内容をガイドしてくれるものが，毎朝新聞に掲載されるＴＶ番組表である．

さて本稿は，「テレビ番組表からみた現代社会の諸相」（その４）の「はじめに」で述べた如く，'82年７月～'83年６月のＴＶ番組表から抽出して構成されたFig.2の「キィーワード・ピクチュア」の後半部分を扱うものである．（その４）ではブロックⅠ～Ⅳまで「時事・国際問題」「文化人類学」「学芸常識」「現代科学技術」をめぐって30のキィータームに関する文章化を行った．引き続いて，本稿ではブロックⅤ～Ⅷの「現代医学」「現代生活・時代感覚」「スポーツ・教育問題」「ＴＶに登場した７人の人物」に関わる30のキィーワードについて扱う．

ブロックⅧで取り上げる７人の人物の背後には以下の23名（あいうえお順）が精選もれしている．アンドロポフ（ソ連書記長），今井通子（登山家），ウエルズ，H. G.（宇宙へのパイオニア），江崎玲於奈（江崎ダイオード），大島清（サル学者），ガルブレイス（経済学），木上進（産業ロボット工業），キッシンジャー（ノーベル平和賞），グレース王妃（モナコ王国），小平邦彦（数学者），コルベ（ポーランド人神父），サッチャー（英国首相），ジュール・ベルス（SF作家），ゼノ修道士（無償の愛），鄧小平（中国共産党長老），広中平祐（数学者），ブレジネフ（前ソ連書記長），ベラスコ（秘密諜報員），ボルグ（世界テニス元チャンピオン），増田明美（女性長距離ランナー），モリス博士（英国動物行動学者），若林繁太（トレパン校長），渡辺茂（コンピュータ界の第一人者）．

Fig. 2 Key Words Picture Ⅱ

ブロックⅠのキィーワード	政　治	38	比例代表制
	財　政	48	マイナス・シーリング
「時事・国際問題」	行　政	57	臨時行政調査会
		31	中国残留孤児
	環境保護	50	緑の地球防衛基金
	国際金融	13	逆オイルショック
	福　祉	11	鐘の鳴る丘
ブロックⅡのキィーワード	世界現勢	39	ブータン
		52	モルディヴ共和国
「文化人類学」	歴　史	26	ストーンヘンジ
		35	パイチチ
	文化人類学	42	ベドウィン族
		49	マサイ族
	民族博物学	56	リトルワールド
ブロックⅢのキィーワード	天文学	9	皆既日食
	園　芸	25	シンビジウム
「学芸常識」	動　物	22	シーラカンス
	美　術	44	ボストン美術館
	考古学	53	山田寺
	地理学	54	ユーコン川
	金　属	30	チタン
ブロックⅣのキィーワード	交通問題	27	青函トンネル
		46	本四架橋
「現代科学技術」	情報化社会	3	INS
		19	CATV
		51	文字多重放送
	コンピュータ	18	コンピュータ・グラフィックス
		47	マイクロエレクトロニクス
		36	パーソナルコンピュータ
		60	ワードプロセッサー
ブロックⅤのキィーワード	心身症	12	カラノス症候群
		21	初老期うつ病
「現代医学」	難　病	16	膠原病
	体外受精	20	試験管ベビー
	医療技術	23	人工心臓
	不　妊	37	ビタミンE
	生物技術	28	生命科学
ブロックⅥのキィーワード	子ども文化	5	うる星やつら
	出　版	1	悪魔の飽食
「現代生活・時代感覚」	映　画	2	E. T.
	レジャー	41	ブルートレイン
	販売流通	43	訪問販売
	若者用語	34	ネクラ
		58	ルンルン
ブロックⅦのキィーワード	登　山	32	喬戈里峰
	野　球	7	MVP
「スポーツ・教育問題」	体　操	24	新体操
	健　康	6	エアロビサイズ
	家庭教育	8	親子戦争
	学校教育	10	学校給食
	外交問題	14	教科書検定
	大学入試	15	共通一次
	教育荒廃	17	校内暴力
ブロックⅧのキィーワード	作　家	4	宇野千代
	児童文化	29	センダック
「TVに登場した7人の人物」	財政再建	33	土光敏夫
	アフリカ映画	40	ブッシュマン・ニカウ
	ピアニスト	45	ホロビッツ
	棋　士	55	米長邦雄
	フォト・ジャーナリスト	59	ロバート・キャパ

ブロックⅤのキィーワード「現代医学」の理解

カラノス症候群

40代半ば過ぎの主婦がかかる心身症に「空巣症候群」がある．子供たちは自立し，ふと気づくと夫は「他人」のような存在になっていて，誰もいなくなった家庭という「巣」の中で女は放心状態に陥る．家族のために40代半ばまでがむしゃらに生きてきた主婦ほど空虚感に襲われてがく然としてしまう．それまで生き甲斐として育ててきた子供の親離れ（進学，就職，結婚，別居）や立身出世にうつつを抜かして家庭を顧りみない夫によって，愛の巣が空っぽになったような空虚と抑うつの感じを持つが，これが身体にもマイナス影響を与え，空巣症候群という心身症が惹起される．これは一種の分離うつ病である．

家族のために熱中している時は感ぜられず，熱中が終った時にドッとくるのが特徴である．この病にかからないためには，賢い主婦は愛の巣構築の当初から食事，洗濯，掃除，買物などの日常の仕事を夫と子供にもその分に応じて自主的に分担させる．さらに冷静賢明な主婦は，家族から一方的に依存されるだけの女であることをハッキリ拒否し，自分自身に納得できる息の長い仕事（なるべく日常性からかけ離れた達成困難なもの，例えば宇宙工学，語学，考古学，芸術）を生涯にわたって追究し続ける．

初老期うつ病

退行期つまり初老（40歳）期に初発するうつ病であるが，これが特殊なうつ病であるかどうかは医学的に明らかではない．しかし，この時期に初発するうつ病が多く，しかも1回きりで再発を繰り返さず，症状に若干の特徴があるため，臨床上このような特別の名称がつけられている．

症状はうつ症状群を中心とするが，自律神経症や不安が強く，神経症的傾向や妄想をもつケースも少なくない．このため，ただの身体病，神経症と誤られやすい．自殺が企図されるケースも多い．原因は不明であるが，慢性ストレスや執着的性格の関与するところが大きい．診断・治療の方法はうつ病一般の場合と同じである．予後は良好で，再発の傾向は絶無に近い．この病の原因は，これまで保持してきた諸々の人間関係において，そのしがらみに対する疲労蓄積が一因ではなかろうか．「気くばりのすすめ」鈴木健二）の表現を借りるならば，この病は「人間関係失調症」である．しかし，はしかのように単なる一過性のものであるから，しっぽりとした人間関係の再築とともにまた元気が甦ってくるから，深刻に悩む必要はない．

膠　原　病

膠原病は全身の細胞と細胞をリンクする結合組織が侵され，炎症性の変化とフィブリノイド変性をきたす一群の病気で，体の各所に広範な症状を見せる．代表的な症状は慢性関節リューマチ，全身性エリテマトーデス，結節性多発性動脈周囲炎，皮膚節炎，強皮症，リューマチ熱などである．これらは共通して，発熱，体重減少，関節炎，発疹など感染症を思わせる急性悪化症状も示すが，大体は慢性増悪型が多い．従来はステロイド剤が治療に用いられてきたが，過剰使用による薬害の発生もあり，根本的治療法は未解決のままである．膠原病がなぜ起こるかは不明だが，最近，免疫メカニズムの異常によることが分かってきた．シャンソン歌手として奇跡的にカムバックした岸洋子もこの難病の持ち主である．

試験管ベビー

「一生子供が持てなくて後悔するよりは体外受精に希望を託してみようと決めました．妊娠したらしいと知らされた時は天にも登る気持でした．私たち夫婦は体外受精を治療の一種と理解しています．もっとたくさんの成功例が出て欲しい．」東北大医学部産婦人科で体外受精の治療を受け，わが国で初の妊娠に成功した宮城県下の31歳の婦人は，'83年6月，毎日新聞社とのインタビューでこう答えた．10月には彼女は体重2544 g の女児を無事出産した．

'82年11月に試験管ベビー誕生をめざす「日本受精着床学会」が創設されたのを契機に，東北大では体外受精の臨床応用に踏み切った．16ケースの失敗の後，17人目でやっと今回の成功にこぎつけた．超音波断層撮影装置のブラウン管で母胎内の胎児の心臓鼓動が確認されたのである．試験管ベビーと呼ばれる体外受精児の誕生のためには，卵巣から成熟卵を摘出して試験管のような容器に収め，精液を加えて受精させ，

約24時間培養してから子宮に受精卵を戻して着床に成功させることがまず必要である．体外受精で難しい点は，排卵直前の卵子を母体から取り出すタイミングと受精卵を子宮に戻し着床させる技術であるが，東北大に続いて慶大，東京歯大，徳島大と次々に体外受精に成功し，日本も本格的な試験管ベビー時代に入った．さらに，東大，慶大，東京医歯大の共同研究チームが人間のX・Y精子の完成分離に成功した事実は，分離した精子で人工受精を行えば将来は男女産み分けも技術的に可能となる．

世界の試験管ベビー第1号のルイーズ・ブラウンちゃん（女児）がイギリスの産婦人科医パトリック・ステプトー，生理学者ロバート・エドワーズ両博士によって誕生したのは'78年である．失敗を重ねた長いイバラの道の研究の中での成功であったが，以来，イギリス，オーストラリア，アメリカを先頭に世界の十数カ国で臨床応用が試みられ，試験管ベビーの誕生は今では総数150人を越えている．

これは不妊に悩む夫婦にとっては大きな励みである．子宝に恵まれない不妊症者のうち全国に30万人と推定される卵管性不妊症者にとって，体外受精の成功は子宝の願いをかなえてくれる朗報である．しかし，体外受精を不妊症者の夫婦間の治療だけに限るならまだしも，アメリカで裁判沙汰になっている貸し腹業（host－mother）や'80年設立の精子銀行あるいは体外受精に伴う先天性奇形児・異常児に思いをめぐらす時，試験管ベビー誕生を手放しで喜ぶ訳にはいかない．4年前に来日したステプトー博士は既に倫理，法律，道徳の面で国際的指針を作る必要のあることを訴えたが，医療の進歩に倫理的歯止めをどう設けるか倫理基準をめぐって人々の英知が集約されつつある．日本産婦人科学会でも，わが国の統一倫理基準をまとめ，体外受精は正式な夫婦に実施すること，遺伝子操作の禁止，プライバシー尊重などの内容を盛り込んでいる．

人工心臓

米国ユタ大学医療センターは，'82年12月，不治の心臓病患者に対する「永久型人工心臓」の移植手術に成功したと発表した．この「完全置換型人工心臓」の埋め込み手術を世界で初めて受けた米国の元歯科医師バーニー・クラーク（Barney Clark）さんは，入院治療中の3カ月目にインタビューで語った．「他に選択の余地がなければ，人工心臓は受ける価値がある．死ぬか生きるか二者択一の道しか残されていなければ，やってみる価値はあるのではなかろうか」――と．クラークさんは重体ながらも落ち着いており，軽い運動も行って治療中であったが，感染症と循環器系の失患のため容体が悪化し，'83年3月，人工心臓から流れ出す血液量が急減して死亡した．手術後から112日の生存であった．死因は循環器系障害と全身臓器の機能不全によるものである．手術の執刀に当たったウイリアム・デブリーズ博士は，クラークさんの死後も鼓動を続ける人工心臓のスイッチを切った．

完全置換型人工心臓は，'58年に動物手術で世界で最初にイヌにはめ込まれた．現在では実験動物（イヌ，ヤギ）は数カ月の生存が可能となった．心臓移植の方が安全であり，人工心臓はもともとそのつなぎとして開発された．心臓の機能の一部を補助する補助人工心臓についてはわが国でも東大・日大の研究グループによる臨床応用が既に2～3あり，その本格使用が始まっている．

クラークさんの場合は，ユタ大学医療センターのロバート・ジャービク（Robert Jarvık）博士の開発したポリウレタン製の完全置換型人工心臓であった．この開発により，彼は「アメリカ発明者名誉の殿堂」から'83年の発明家の年男に選ばれた．しかし，ポリウレタン製人工心臓にはマイナス面としての問題点が残されている．それは，耐久性，抗血栓性，感染防止の3点に集約される．石灰質の沈着や血栓形成のできない材料の開発と感染症の解明が待たれている．この人工心臓は10年後には一般的となることが予測される．しかし，技術的には可能であっても，政治，法律，哲学，経済，社会にかかわる人間の「生命」の問題として大きな課題が横たわっている．

ビタミンE

ビタミンでインフルエンザや癌，老化が防げるのだと，昨今はビタミンブームである．ビタミンEは抗不妊因子として発見され，E作用をもつものの総称である．ビタミンEの生理作用は確定されているが，生体抗酸化作用，電子伝達系などの酵素作用に直接関与，ユビキノンの生合成・体内保留，膜透過性，DNA

生合成速度調節などが考えられている．１日所要量は成人で10～15㎎とされ，植物油のうち小麦や米の胚子油，綿実油，トウモロコシ油に多いが，動物性油脂にはほとんどない．

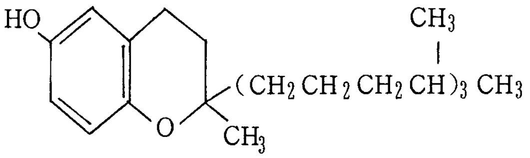

Fig. 3　トコール（ビタミンE）の化学式

ビタミンE欠乏症になると，人には赤血球溶血亢進，貧血，ジストロフィー，色素沈着，クレアチン尿の症状が見られやすくなる．ビタミンE欠乏の妊娠動物の実験結果から不妊症，習慣性流産，精子欠乏症が起こり，また人の筋萎縮症に似た症状が起こることが明らかになっている．人の場合，E欠乏は老人や偏食者に多いことが分かっている．

生命科学

ものごとの進展には総合化と分化の二つの方向を伴うことが健全であるが，今日の科学は余りに専門分化しすぎて「木を見て森を見ざる」の傾向なきにしもあらずである．これに対して，生命科学は医学を中心とした諸科学の総合化を図ろうとする生物技術学である．生命とは何か，とりわけ人間の生命とは何かという根源的な問題を諸科学を基盤にしてさまざまな角度から総合的に解明しようとするインターディシプリナリィ・サイエンス（interdiciprınary science）である．さらに，その解明をベースにして，生命を大切にする社会を構築することをねらいとしている．

今日，分子生物学の発展が著しく，それに伴って生じてきた生命現象の基礎研究をより総合的に行おうとする動向の中から生命科学の学問分野が誕生した．生命科学を組み立てている基本的研究分野には，生体物質の科学，遺伝学，細胞生物学，発生生物学，脳神経科学，環境科学，社会科学，生命の起源の研究などが含まれる．専門家同士の間でしかコミュニケーションが成立しないほど難解なテクニカルタームが多い今日，生命科学は生命の解明を中核として多くの人々の共通理解を得ようとする土俵を提供している．

ブロックⅥのキィーワード「現代生活・時代感覚」の理解

うる星やつら

アニメの専門情報誌「Animage」の実施した'82年のアニメ人気投票によれば，中・高校生を中心とするアニメファンの支持は「うる星やつら」「戦闘メカ・ザブングル」「六神合体ゴッドマーズ」の3本に分散している．個性の異なるアニメへの３極分化は今日のアニメ嗜好の多様化傾向の表れである．目玉なきアニメ状況の中で，週刊少年サンデーに連載中でもある高橋留美子原作「うる星やつら」は，鬼の娘のグラマーなラムちゃんとその恋人諸星あたるを主人公とするギャグ・コメディである．そのパロディ感覚は従来のギャグ漫画のパターンを越える新しい「笑い」のセンスを表現しており，'80年代的パロディ・アニメの出発を宣言する画期的作品といえる．高橋は，この他にも「めぞん一刻」（ビッグコミック『スピリッツ』）の作品を出している．

ＴＶアニメ「うる星やつら」は20歳代～30歳前後の若いスタッフによって創作されており，子ども時代からアニメに親しみアニメを自分たちの文化として育ってきた若い世代が，今やアニメ文化創造の担い手として登場していることを物語っている．ＴＶアニメ視聴率年間ベスト10の第６位に入った「うる星やつら」はフジＴＶ系（東海ＴＶ）で放映中であり，コミックこそ大衆の味方とばかり，画面ではいつも水着

姿のグラマーなラムちゃんが活躍している．受験世代の英語勉強の切り札として，英訳版「URUSEIYA TSURA」（斎藤宏，ブルース・M・ウイルカースン訳，小学館）の第2冊目が刊行されている．

悪魔の飽食

「悪魔の飽食」（森村誠一，光文社）は戦時中の旧日本軍細菌戦部隊（関東軍第731部隊）の実態を綴った告発の書である．第2次大戦中，中国での日本軍による生体解剖，細菌を用いた人体実験の様子を精力的な取材によりまとめたものである．第731部隊は，当時ハルピンを本拠として満州で細菌戦の研究を行い，「マルタ」と呼ばれた実験材料の捕虜たちに生体実験が行われたのである．今日の軍拡主義や核戦争への漠然たる不安に増幅されて一大センセーションをまき起こし，230万部を越すベストセラーとなった．ＴＶの深夜番組でも取り上げられ話題になった．

「続・悪魔の飽食」も出版されたが，掲載された写真が第731部隊とは全く関係ないニセモノであることが判明した．その後，「悪魔の飽食第3部」が角川書店により出版された．いずれにせよ戦争そのものが非人道的であることを，この本は我々現代人に忘れさせまいとしている．

Ｅ。Ｔ。

100年前は地球外の知的生物の存在を探る有効手段はなかったが，今では高度な技術を持つ電波天文学の発達によって星と星の間の超遠隔交信も可能になった．地球外の知的生物について研究してきた人々は20年前からいる．コーネル大学天文学教授，同大学惑星研究所長のカール・セーガン氏（1934～）を中心に地球外知的生物探査のための国際的な組織的研究としてSETI（Searches for Extra TerrestrialIntelligence）-地球外知的生物探査計画- が呼びかけられている．地球外生命は必ずしも想像の産物ではなく，ほぼ確実に存在することが判明しつつある．'83年8月の全米化学学会年次総会では，メリーランド大学化学進化研究所のシリル・ポナムペルマ所長が地球の外に生物の構成要素となる5塩基の存在をいん石から発見し，またそれを実験的に作り出すことにも成功したと報告した．

こうして地球外生物の存在の有無が科学的に究明されようとしている今日，タイミングよく封切られて爆発的人気を呼んだアメリカ映画に「E．T.」（異星人）がある．わが国でも'83年映画配給収入ベスト10（1～8月）の第1位になっている．監督は「ジョーズ」「未知との遭遇」で知られるスティーブン・スピルバーグ（Steven Spielberg，35歳）である．E．T．とは，Extra－Terrestrial の略であり，地球外生物・宇宙圏外生物を意味する．ストーリーは，宇宙船で遙かなる地球にやってきたE．T．のうち仲間に置いてきぼりをくった一人のE．T．がロスアンジェルス郊外の住宅地の物置に隠れているところをエリオット少年に見つけられるところから始まる．推定年齢300歳，身長1 mのE．T．はテナガザルの一種であるギボンの赤ちゃんとそっくりの顔をしているが，高度な知能を持ち言語は勿論，超能力も自由に操る．その顔と姿，存在の一切が醜悪怪奇で忌み嫌われるべきものとしてのE．T．ではあるが，心優しくて甘い物に目のないひょうきん宇宙人である．最初は独りぼっちで恐怖におののいていた彼はエリオット少年との心暖まる友情の中で数々の奇跡を行う．現代文明社会のシンボルとしての鍵，殺伐としたニュータウン，人工の科学，大人，自動車，破壊という記号の系統にE．T.，森，子供，自然，自転車，愛という記号の系統が対比されつつ，映画は現代人の潜在的宗教願望，愛への飢え，「他者」への関心，さらに「他者との和解」を求める心を暗示しようとしている．E．T．は見た目は悪いが，付き合っていると次第によくなる地球外生物である．彼は故国の星への郷愁やみがたく，少年の助けを借りて宇宙の彼方の故国との通信手段を作り上げる．結局，彼は空の彼方へと帰って行き，そこで映画もエンドとなる．

ブルートレイン

ブルートレインとは，本来はパリやウイーンから南仏の保養地へ向かう超豪華列車の総称である．現在もフランスにはトラン・ブルーと呼ばれる夜行列車があり，南アフリカ共和国では正式に「ブルートレイン」と名乗る特急がプレトリアとケープタウンの間を走っている。バー，サロン，浴室付き客室を利用した豪華な汽車旅行はレジャーとして最高級である．

わが国では国鉄夜行寝台特急列車の愛称としてブルートレインが用いられている．ブルーの車体に白い

帯のしゃれた配色をもつ東京—博多間の特急「あさかぜ」がデビューした当時，近代的装備と冷暖房を備えた画期的なものだったため，鉄道ファンたちがこの愛称を呼び始めたのである．現在では全国の幹線に進出し，「みずほ」「さくら」「出雲」「はやぶさ」「銀河」などがある．今日，レジャーとしてこれらのブルートレインを利用する若者たちは少なくない．

訪問販売

販売員が家庭，職場などを巡回して商品を勧誘，販売する方法である．訪問販売による解約のトラブルが近年少なくない．上手に利用すれば便利ではあるが，契約など不慣れな消費者につけ込むセールスも多く，悪質な販売手口による被害は後を断たない．手を替え品を替えた七変化する甘い言葉の魔法にかからないためには，消費者には冷静さを忘れない，しっかりした判断のできる賢さが必要である．

買う気を誘う手口にはいろいろあるが，共通していることは甘い言葉や悪質な手口によって消費者のウィーク・ポイントを巧みに突いてくる点である．特にウマすぎる話，もうけ話には心を揺り動かされぬことである．トラブルを防止し，相手のペースのままに口説かれないためには，(1) 訪問を受けたら目的，販売業者の名前・商品の種類を確認する．(2) 本当に必要な商品か，代金支払いは可能かなど冷静に考え，家族とよく相談してから契約する．(3) 巧みな話術・宣伝・広告に惑わされず，必要でなければはっきり断る．(4) 契約や申込書面は内容をよく読み，理解した上でハンコを押す．(5) 領収書は大切に保管する——の５点がポイントである．

「訪問販売等に関する法律」では訪問販売の適正化のための種々様々な規制を行っている．クーリング・オフ制度はこの法律で指定する多くの商品に適用され，消費者保護のために与えられた特別の権利である．これは契約日を含め４日間以内であれば無条件で契約解除できる制度である．解除通知は書面で行わなければならず，最も確実なのが内容証明郵便である．結んだ契約を守ることは現代社会の基本的ルールであるから，訪問販売によるトラブルを防止するには，消費者は十分慎重に契約する賢明さを身につけなければならない．

ネクラ

語源は「根暗」で，根が暗く，根っからの暗い性格を意味する若者用語 (youth language) である．反語をネアカ（根明）といい，ひょうきん（剽軽）ともいう．夕暮の森の中のように根が暗いとの意味を持ち，丸見えの反対である．物知りそうで才能が奥深く，暗い色調・音調を好む無口で落ち着いた性格が表現されている．

こうした性格を持つ現代の若者をネクラ族という．九十九一又は立川直樹（ミュージックプロデューサー）がこのことばの元祖だといわれる．ＴＶの中ではタモリが使い始めた．うわべは陽気でのびやかで明るいが，本質的には暗いという性格は，我々日本人の誰もがいくらかは持つ性質である．

ルンルン

大人の世界でも市民権を得た流行語であり，NHK総合ＴＶの「連想ゲーム」にも出題された．はずんだ気持，いい調子，御気嫌，yes，good の意味である．吉田まゆみの少女マンガ「はいすくーる」（'76年）にそのルーツを発する．'80年春まで放映されたＴＶアニメ「花の子ルンルン」（原作者はアニメ作家神保史郎，34歳）でも主人公の女の子の名前として用いられた．小学生，女子高校生，女子学生，ＯＬへと伝幡し，大人の世界でも流行語となった．「ルンルンヘア」「ルンルンしよう」「ルンルンしてる？」「デートのおめかしでルンルン気分だね」「髪型がルンルンだから，朝起きてからずっとルンルンしてるの」などと使う．

ルンルンは状態を音で表現したことばで擬態語という．ハラハラ，ドキドキ，ランラン，リンリン，ウラウラなど，日本の童話，詩歌，日常会話には古くから情感豊かな擬態語，擬声語が多く使われてきた．子どものことば，童謡の世界のことばには，ピチピチチャプチャプランランラン，メエメエ，カアカア，ガタガタ，シンシン，ドンブラコドンブラコなどがある．クネクネ，スヤスヤ，ブカブカ，ポックリポックリ，ピーポーピーポーなどとある状態をリズムと音だけで表現する方法をオノマトペという．オノマトペとは名前（オノマト）を作る（ペ）の意味である．

時代の変化に対応して造語される擬態語は，女性的な傾向を持つ感覚的，聴覚的な言語であって，外国人には意味がよく通じないといわれる．日本語の造語力としては優れているが，意味が曖昧で不正確なコミュニケーション機能しか持たないことばだからである．外国語にはない擬態語を多く使った中原中也，萩原朔太郎，宮沢賢治の三人の作品は翻訳しにくいとして，外国人翻訳家にはけむたがられている．「カカ」「ケケ」「ウマウマ」などの同音を重ねるのは幼児語の特徴であり，日本語はまだ幼児段階なのではないかと指摘する外国人も少なくない．一方，日本人は音に対して鋭い耳を持ち，その音を的確に表現できるともいわれている．いずれにせよ，擬態語「ルンルン」は曖昧で不正確な意味しか持たないものの，今日の時代の表面的な明るくて軽快なイメージを表現し得ていることは確かである．

ブロックⅦのキィーワード「スポーツ・教育問題」の理解

喬戈里峰

喬戈里（チョゴリ）峰は世界第二のヒマラヤの高峰（8,611 *m*）である．日本山岳協会登山隊（隊長新貝勲）は，'82年夏，この喬戈里峰への海外遠征に挑んだ．8月14日，中国側の未踏の北陵ルートから3人が無酸素で初登頂，次いで15日にも4人が登り，計7人が登頂に成功した．これはヒマラヤ登山史上の壮挙である．

しかし，第一次隊が下山途中，1人が滑落死亡した．この登頂について小西登攀隊長は，「無事故で下山して初めて成功したのだと言える．結論的には40％の登山」と語った．遭難者を出したうえに，登頂した第一次隊の3人は登頂後のビバークではザイルもツェルトもなく，ピッケルだけというお粗末な状態だったからだという．ベース・キャンプ付近では同行の医師も遭難死した．NHK取材班によって「もう一つのシルクロード」と表現された喬戈里は簡単には人を寄せつけず，静かにヒマラヤにそびえている．

MVP

プロ野球界では，日米とも，そのシーズンを通じてあらゆる点で最も優秀であった選手（Most Valuable Player）を選んで表彰する習慣になっている．日本のプロ野球では発足当時の昭和12年からMVPを選出してきたが，セ・リーグの場合，'81年度は巨人の江川卓，'82年度は中日の中尾孝義が選ばれ，パ・リーグの場合，'81年度は日本ハムの江夏豊，'82年度はロッテの落合博満と各々の選手が栄冠に輝いている．

選手の励みにしようというねらいから，月ごとのMVPも始められた．月間MVPは，各月間でそのチームの勝利に最も貢献した選手に与えられるものであり，セ・リーグが'75年，パ・リーグが'79年から設けた賞である．記録部が提出した資料に基づきリーグ会長が選考する．米大リーグでも同じ趣旨でPlayer of the Monthを表彰している．

新体操

伴奏音楽のリズムに合わせ，手具を使って演技する舞踊体操である．団体（6人）と個人とあり，12*m*四方のマット内で演技される．手具は輪，ボール，こん棒，帯状布（リボン），ロープの5種類がある．宙返りや倒立が禁止されているほかは自由な演技で美しさを表現する．演技を見る者の立場から述べると，新体操は今日の映像化時代にうってつけのスポーツである．新体操の美しさを茶の間のＴＶで十分に味わうことができるからである．

'63年から隔年に世界選手権大会が開かれ，'84年のロスアンジェルス・オリンピックからは体操競技の正式種目に加えられる．'83年の第36回全日本選手権大会の女子優勝者山崎浩子（東女体大研究生），秋山エリカ（東女体大），富田朋子（河合楽器）そして16歳のホープ大塚裕子（松山東雲高2年）などの女子選手をかかえる日本にとっては，新体操は上位入賞の有望種目である．

エアロビサイズ

エアロビック・ダンス，エアロビクスともいう．'60年代，NASA（アメリカ航空宇宙局）のケネス・H・クーパー博士の開発した体操である．彼は，健康のために身体を動かして空気（酸素）をたっぷり取ろうと提唱し，エアロビサイズはNASA採用のトレーニング法ともなった．エアロビサイズはAerobics Exercise の合成語で，エアロビクス・エクササイズの略称である．エアロビクスは「有酸素運動」のこと

であり，本来は「好気性」という意味の植物学用語である．リズミカルな手腕と肢足の運動の組み合わせによって，軽やかに心臓や肺を刺激して循環作用を促し，若返りを図るダンス運動の総称である．毎日，十分に酸素を吸って若さを増進させる健康法でもある．

日本でも健康体操ブームに乗って，ジョギング，ストレッチングに引き続いてエアロビサイズが活況を呈している．健康と美容・美肌の増進のために，酸素呼吸法としてのエアロビサイズはうってつけである．シェイプアップされた若い肢体とスリムな美としなやかな健康を夢見て薄目のレオタードとタイツ姿に着替えると，なぜか「体」だけでなく「心」まで shape-up されるという功徳がある．健康なお色気発散のため，見る立場にある男性にも抜群の人気を博しているエアロビサイズ——一言でいうならば，それは現代女性の健康生活革命法である．

親子戦争

親子戦争とは，'83年２月３日にNHK総合TVで放映された「ルポルタージュにっぽん」のタイトルである．この番組では，「積木くずし——親と子の二百日戦争——」（桐原書店，'82年刊）の著者穂積隆信夫妻が登場し，現代の少年非行と親子関係をめぐって映像が展開された．

「積木くずし」は非行に走った愛娘を何とか立ち直らせようとしたダメな父親（51歳の俳優）の奮戦記である．「それでもあんたたち親なの？」と，ある日，突然髪を染め，シンナーを吸い出した一人娘は，登校拒否，親への暴力，無断外泊へと生活を転落させていく．それは，家庭崩壊のドン底の中で警視庁少年第一課少年相談室心理鑑別技師のＴ指導員の教えに支えられ，一度は崩れた家族という名の積木を再び積み上げていった一家の立ち直りの記録である．非行に走った愛娘に対するＴ指導員の具体的治療法（親の対処の仕方）とは何か．その内容は，「親から絶対に話しかけてはいけない．子どもから話しかけてきたら愛情を持って相づちだけを打つ．意見を言ってはいけない．ルールに対する特例を絶対に認めてはならない．世間の目を気にしない．いらっしゃい，ごくろうさまの日常の挨拶を大切にする．金を渡さない．門限を決める．」など平凡ではあるがきわめてユニークである．娘の家出，転校，補導に手をやき，余りに娘を「いじりすぎ」てしまった穂積夫妻は，Ｔさんの指導を受けながら親子関係の再建へと悪戦苦闘し，やがて一筋の光明が見えてくる．親の熱いまなざしとひたむきな姿にツッパリ娘は少しずつ心を開き，「本当に自分の親はステキだな」と思うようになる．著書は，非行娘が「安らぎ」の場所としての家庭に再び迎え入れられるまでの200日を同時進行形のドキュメント・スタイルで展開されている．

「積木くずし」は鈴木健二の「気くばりのすすめ」（講談社）と並ぶベストセラーであり，'82年９月の発売以来爆発的に売れた．'83年２月～３月までTBS系TVでドラマ化されて放映され，過去10年のドラマ番組では最高の視聴率となった．東宝でも映画化を発表し，秋には初公開された（監督，斎藤光正「積木くずし」）．それは，親と子の情愛の原点，親と子の生き方，親の教育の大切さを，とりわけ父娘づきあいの難しさを現代の人々に問いかけている．

学校給食

全国学校栄養士協議会設立20周年の記念事業の一つとして，'82年１月実施の学校給食週間の全国統一メニューはカレー一色（全国の国公立小・中学校の約６割がカレーを食べた）であったが，'83年の学校給食週間には各地の特色を生かす「郷土料理」が登場した．秋田のキリタンポ，山形の納豆汁，京都の茶めし，広島のかきなます，徳島のワカメご飯など，全国166万人の児童・生徒の大部分は各地の郷土料理に舌鼓をうった．

1890（明治23）年，山形県の一私立小学校で産声をあげた学校給食は，戦後まもなく学校給食制度としてスタートし，28年後の今日では学校教育の中にすっかり定着したかの感がある．学校給食法施行の当初は，日本全体は貧困の時代であり，給食の中味も貧弱であった．しかし，あの粉ミルクの匂いは，中年世代には若かりし頃の飢えの体験とオーバーラップして今なお給食を懐かしきものとして思い起こさせる．当時の鼻たれ小僧たちの連帯感は「同じ釜の飯を食った」という学校給食がベースとなって育成されたとさえいえる．

教育の一環として位置づけられた学校給食法をひもといてみよう．同法では，給食の目標として，(1) 日常生活における食事についての正しい理解と望ましい習慣の養成，(2) 学校生活を豊かにし，明るい社交性を養うこと，(3) 食生活の合理化，栄養の改善，健康の増進，(4) 食糧の生産，配分，消費についての正しい理解――の4点を掲げている．学校給食は子どもの心身の発達に資し，同時に国民の食生活の改善に寄与するものであるとの認識から，文部省はこれまで給食の意義を認めてきた．

ところが近年になって給食の縮小，ないしは義務制から自由選択制への動きが見られつつある．一つは，給食用パンの中に添加されるリジンをめぐって，従来は子どもの体位向上に役立つとみられていたが，発ガン性の疑いが出たため7～8年前から全国的な反対運動が起こっていることである．もう一つは，今回の臨調答申の報告で提案されている補助金の整理合理化をめぐって，文教関係の中の学校給食の補助が削減の方向に向かっている点である．報告では，教育上の効果，健康の増進等の観点から学校給食を行うことの意義は認められるが，子どもに食事を与えることは本来，家庭の機能であり，給食費については基本的に受益者の負担とするのが適当であるとの考えを展開している．ちなみに，現在，小学校の場合の一食当たりのコストは約310円であり，このうち保護者負担は約175円である．一方，文部省は，給食は家庭での食生活のアンバランスや子どもの偏った嗜好を是正し，家庭との連帯でバランスのとれた栄養を摂取する意味からも拡充すべきであるとし，臨調の指摘する縮小の方向は時代に逆行するとの立場をとっている．食卓でのマナーを含めた「食べる」という人間の基本的行為が学校教育の問題としてとらえられるべきかどうか，根本的に問い直す時代を迎えているといえよう．

栄養とカロリー，経済性，省力化を考慮しながら310円見当の献立てがセンター方式を中心に日々工夫され，それが子ども達の口に届けられている．学校給食にかかわる2つのトピックスを記しておこう．まず，全国的に相当普及した先割れスプーンは食事の行儀の悪さを促すとして不評となり，これに従来の箸がとって代わりつつある．文部省調査によると，何らかの形で箸を使っている「ハシ派」の学校は69％となった．しかし満足に箸を使えない子どもは少なくない．また'80年代に入って米飯給食の回数が増える傾向にあり，子ども達の評判も悪くない．名古屋市でも米飯給食の「当面週1回実施」，将来は「週2～3回」の方針を打ち出している．

教科書検定

'82年6月，文部省は58年度から使用の高校2・3年用と小学校用などの教科書について検定結果を発表したが，7～8月になって中・韓両国から歴史教科書の検定は戦前の大陸侵略や植民地政策を美化するものだとの立場から正式抗議の申し入れがなされた．中国における「南京虐殺」の史実や「侵略」（→「進出」）の歪曲，韓国における三・一「独立運動」（→「暴動」），植民地時代の神社「強制」（→「奨励」）の改ざんがなされたとの批判であり，事態は外交問題にまで発展した．

文部省は，教科書検定はあくまで内政上の問題であり，また検定によって改訂した部分を元に戻すことは教科書検定制度の根幹を揺るがすとして，訂正に応じない態度を堅持していた．しかし，文部・外務両局長の中国派遣，事実上の再改訂を認める外相所見，自民党代議士の韓国訪問を経て，8月末に「政府見解」として超法規的行為ともいうべき「政府の責任において教科書を是正する」との言明を行い，審議会の議を経て検定基準を改める方針を表明した．こうして中・韓両国との教科書問題は外交上は一応の収拾がついた．

今回の教科書問題では「侵略」が「進出」に変わったことが外交問題となる直接のきっかけであったが，実際にはそのものずばりの例はなく誤報であることが判明した．外国の教科書が隣国同士で例えば同一人物を片方が英雄なら他方は悪者扱いにすることは容易に想像できることである．中国の教科書にしても，鎌倉期における「蒙古襲来」（フビライの元寇）はどのように扱われているのか，ベトナム国境地域における武力問題を「侵略」あるいは「進出」と表現しているのだろうか．日本の教科書も全体としては平和主義と善隣友好が貫かれていることは人々の認めるところであるが，国や立場が異なれば表現も異なるのである．今回の問題の背景には恐らく中国の内部事情がからんでいたと考えられる．

教科書検定制度自体は，とりわけ家永教科書訴訟以来クローズアップされており，'70年の第2次訴訟に対する杉本判決が教科書の検定を誤記・誤植に限るべきとした点は我々の記憶に残っている．教科書検定に対する中・韓両国の正式抗議に対する反省からも，'83年6月，第13期中央教育審議会が答申した教科書制度改革の内容は，検定結果の一部公表，検定基準の明確化，教科書検定を客観評価するためのモニター制度の導入（第三者機関の設置）などを打ち出している．一方，採択地域の広域化，都道府県教委への教科書選定権の付与，高校教科書発行者に対する文相指定制度の導入，教師用指導書の編集・発行に対する行政指導の実施などを提言し，全体として教科書の管理・統制を強化する内容となっている．また，答申は義務教育教科書の給与制度は現行の無償制を「維持すべきだ」としている．

共通一次

'79年の発足以来，毎年1月に実施されている共通一次（正式名称は，国公立大学入試選抜共通一次学力試験）は，'83年1月で5回目となり，4月には大卒の新入社員にも「共通一次世代」が初めて登場した．「共通一次世代」は陽気で明朗だが主体性がなく没個性的であること，悩むことを知らない点取りマシーンだとのイメージが強い．「共通一次世代」が社会人となった本年は共通一次制度の「見直し」の時期でもあり，文部省大学入試方法改善会議と国立大学協会は61年度入試からの実施をメドにその検討作業を着手させた．

強大な一つの物差しで自分の「身のほど」を測り，それに合わせて志望大学選びを行うという偏差値による振り分け現象が定着し，その結果，各大学・各学部が受験生の共通一次得点によってランク付け（輪切り）にされることとなった．受験生の大学・学部に対する志望動機が希薄化する傾向も強くなった．共通一次による偏差値割り振りの効き目があまりに強すぎ，一点刻みで各大学・各学部が序列化される傾向が顕著である．これを是正するため，各大学では3月実施の二次試験に改革の試みと創意工夫をこらしている．共通一次の成績が大きくものをいうために，個性的で魅力的な国立大学が少なくなるのではないか，若い世代の育ち方や人生設計に歪みを生ずるのではないかなどの反省が大学入試選抜方法の「見直し」を促すインパクトとなった．

見直しのための提案には，例えば，フランスのバカロレア（大学入学資格試験）を範とする共通一次の入学資格試験化，入学合否の判断を高校からの推薦状や内申書に頼る推薦入学の拡大化，二次試験の重視，入試科目の傾斜配分制の導入，二次募集枠の拡大化，受験生の情緒や道徳（他人に対する思いやり，協調性，適切な自己主張，自発性など）の発達面の重視，私大の共通一次参加などがある．これらの提案の具体化の可否を通じて，今後大学入試の理想像に関する共通理解が練り上げられることになる．

大学入試は若者の人生設計につながる大事なイニシェーション（通過儀礼）の一つである．'83年1月実施の共通一次にも国立93，公立34，私立1の合計128校が参加し，34.3万人が正解欄を塗りつぶすマークシート方式の5教科7科目試験を受験した．初日の欠席率は過去最高の5.1％であった．

校内暴力

学校内で生徒が教師や級友に暴力を加えたり，学内の施設設備を破壊する暴力行為は，日本ばかりでなく世界各国の難問である．三重県の尾鷲中学で起きた生徒の暴力事件のみならず，千葉県流山中央高校校長の校内暴力を苦にしての自殺，教師が生徒を刺す事件へと発展した東京・町田市忠生中学の卒業式の例は，現代における学校教育の病理現象のほんの一部である．文部省調査では，校内暴力は57年度に公立中で7.4校，公立高で9.5校に1校の割合で発生しており，対教師暴力では合計1715人の教師が被害を受けている．

社会そのものが高度複雑に管理化されていく状況下において，学校教育は「やさしさの教育」と「スパルタの教育」の狭間の中で苦悶している．「やさしさの教育」も「スパルタの教育」も生徒達に拒否されてしまうとすれば，良心ある多くの教師達にとって選択すべき第三の教育は，当面のところ「辛抱の教育」以外にはない．校内暴力の増加と日常化の原因は教師の教育的「力量」の低下に帰因するのみではない．それは家庭，地域，学校を含めた現代社会全体の教育力の低下にある．校内暴力防止のためには，各々の教師の努力によってのみでなく，家庭，地域，学校の三者が一体となったチームプレーとしての指導が不

可欠である．学校教育は生徒の「知育」「徳育」「体育」のバランスある発達をめざして日々営まれているが，校内暴力の根本的解決を真剣に願う人々は，さらにもう一つの教育，つまり「心育」を加えることの必要性を説いている．「心育」とは現代人の多くが忘れ去ってしまった宗教的な「愛の教育」のことである．拝金主義と物質主義に骨の髄まで毒された現代人にとって，「愛の教育」は単なるお笑い草にすぎないであろうか．しかし，神秘なるもの，聖なるものに真摯な気持を持たなくなる時，我々は来たるべき21世紀の教育を明るいものとして共に語らうことはできない．

ブロックⅧのキィーワード「TVに登場した７人の人物」の理解

宇野千代

'83年６月のNHK総合ＴＶ「宇野千代ショー」では，85歳の高齢にも拘らずかくしゃくとした彼女の姿が紹介された．1897年，山口県に生まれ，岩国高等女学校卒業後小学校教師を経て朝鮮の京城へ渡り，人生放浪の旅が始まった．文学を志し，「台所でせっせと料理を作ってあげた」尾崎士郎，「悪だけどよく仕事をした」東郷青児，「意識過剰の色男」北原武夫など，文壇の多数の作家達と華麗多彩な愛の遍歴を重ねた．故郷の岩国では「あの娘は品行が悪いケ……」との噂が立った．

映像１　宇野千代

現在では，「人形師天狗屋久吉」「おはん」「色ざんげ」を代表作とする数々の名作を世に送った女流作家の長老であり，'82年秋には第30回菊池寛賞を受賞した．雑誌「スタイル」を創刊したり「スタイルの店」を出すなど，ファッション界でも活躍してきた．これまで歳のことをまるで考えず，決して後を振り向くことなしに歩き続けてきたという．いつの日もためらうことなくひたむきに生き，前ばかり見て「鴉が空を翔ぶように」知らぬ間に85年の歳月を生きてきたという．老いることを知らない肉体と精神を持っているのは，いつも何かに夢中になっているからであろうか．彼女によれば，若さの秘訣は，何にでも好奇心を持ち，すぐ行動することである．いくつになってもボケない条件は，「異性に興味を持ち続けること」である．彼女の場合，色男はすでに卒業して，今では「顔はヘナチョコでも人柄がいいのがいい」らしい．恋にまつわる宇野語録を記しておこう．失恋の痛手を消すには「一番いい着物きて，パーッと表へ飛び出すの．いくらでもいい男が見つかるわよ．」「恋をしないのはなまけ者か，欲が深いかよ．」

彼女の好きな言葉は「初荷の午」である．これは，昔の正月に頭いっぱい，でこでこの飾りをつけて，町中を練り歩いていた馬のことである．彼女は，でこでこにおしゃれをして，若作りをするのも辞さないという元気のいい女性を理想のモデルとしているのである．幸福をばらまく花咲婆さん，素敵なおばあさんは，これからもフリーな感覚で何事にも拘束されずに奔放に生きて行って欲しい．毎日新聞「日曜くらぶ」に'82年２月から連載の大河自伝も単行本「生きていく私　上・下」（毎日新聞社，'83年８月）として刊行され，「おはん」も映画化が決定している．

センダック

アメリカの誇る絵本の天才センダック（1928～）は，ニューヨーク・ブルックリンでポーランド系ユダヤ人の移民の子として55年前に生まれた．自閉症の子どもが彼の絵本を握りしめて口を開き始めたとのエピソードは，子どもの目から描いた彼の怪獣の絵本が子どもだけの持つ夢と恐れの世界にいかに肉迫しているかを証明している．日常的な生活の中での子どもの気持を大切にした彼は，残酷と謎めき，ユーモア，恐れをちりばめながら，広がるファンタジーの世界を子どもの前に提示してきた．

映像２　センダック

彼の父親は即興の物語を語るのが上手で，ユダヤに伝わる古いお

とぎ話をもとに，即興の話を子ども達によくしたという．そのことが幼ない彼に幻想と神秘の世界への強い興味を植えつけ，豊かなビジュアル・イメージ（visual image）を育てたといわれる．'48年，兄のジャックと共作したおもちゃの人形がきっかけで絵の才が認められ，以来，グリム童話やマルセル・エーメの童話のさし絵の仕事に従事した．'56年には絵と文の両方を自作した「ケニーの窓」を出版した．'70年には，さし絵と絵本で多数の仕事をなしてきた彼に国際アンデルセン大賞が送られた．「真夜中の台所」「怪獣たちのいる所」「遠い所へ行きたいなあ」「ピエールとライオン」「ロージーちゃんの秘密」など彼の自作した絵本は数え切れない．その作品には幼ない時期から養われた神秘主義が流れている．この神に至る神秘の世界の表現は，アメリカやヨーロッパの物質文明に対する一つの批判でもある．

彼の精神を育んだ子ども時代が彼の児童文化へのスタートの原動力となった．そのため彼の絵本や絵物語の根底には，子どもとは何かの問いかけが常に存在している．彼は現代人の失ったwild thing（野性的なもの）としてのこわい怪獣を描いて，それを子どもに対峙させた．現実の多層性を鋭く見抜く子どもにとって，絵本に登場する魔女は母であり，継母は実母なのである．内的現実と外的現実の葛藤，自立と保護の角遂のただ中にある子どもにとって，彼の絵本の世界は解読可能な共感的信号である．彼が好んで描く「窓」はもう一つの世界への通路であり，窓の外のそのまた向こうにはファンタジーの世界が広がっている．子どもへの愛情を根本にすえて提示される不思議への憧れ，驚き，楽しさ，おかしさの背後には寂しさと不安がこめられている．これが彼の絵本の真実味を深めている．彼は子どものための偉大なるアーティストである．

土光敏夫

社長時代は午前7時15分きっかりに出社し，「社員は3倍働け，重役は10倍働く」とモーレツ経営を行った土光敏夫氏は，わが国における技術系経営者の代表的人物である．普通なら趣味の畑仕事だけを楽しむ，れっきとした恍惚の人であるはずなのに，「財界の荒法師」の異名をとり，「行革の鬼」と言われて政界にニラミをきかせてきた「時の人物」である．臨調会長として日本再建のため行革による世直しにかけてきた情熱にはすさまじい迫力がある．

映像3　土光敏夫

1896（明治29）年，岡山市生まれの彼は，東京高等工業学校機械科を卒業後，日本初期のタービン設計者として技術者生活を送ってきた．物を大切に扱う心と桁はずれの強い意志は餓鬼大将の時代からのものである．質素なシンプルライフの暮らしぶりと明治的気骨は，日蓮宗を信仰した両親からの授かりものである．とりわけ，70歳にして橘学園を創設した日蓮宗の熱心な信者である母親土光登美の血を受け継いでいる．「ミスター合理化」と呼ばれる合理主義に徹する彼の姿勢は，技術系出身であることと関連深いが，一方で日蓮宗の信仰に由来する世俗的な意味での禁欲とも一脈つながっている．

彼の最も好きな言葉は，殷王朝湯王の「苟日新，日日新，又日新」（中国の古典「大学」伝二章）である．好きな経営者の心得は山本五十六元帥の言葉「やってみせ，言ってきかせて，させてみせ，ほめてやらねば，人は動かじ」である．つまり，この気骨ある明治の男の生活信条は「絶えざる自己変革」と「率先垂範」の二点に凝集される．

'81年3月以来2年間，彼は文字通り寝食を忘れて行革による世直しに取り組み，5次にわたる答申をまとめ上げた臨時行政調査会のバックボーンである．日本を滅亡の危機から救出し，自主自立の精神をベースとした21世紀の日本を築こうとする「老いの一徹」が行革の場面に登場し，国民の期待と信頼を集めてきた．今や行革は実行段階に入ったが，「腰くだけになるな」と総理を叱れる人は，この老いたるヒーロー「メザシの土光さん」以外にはいない．

ブッシュマン・ニカウ

'83年３月，映画「ブッシュマン」の宣伝のため，南アフリカのカラハリ砂漠に住む主人公役のニカウ・ゴフォマさん（推定年齢38歳）が来日した．ダチョウの卵，草木の根っ子，ブッシュマンの薬を携えて成田空港に到着し，記者会見では「まだ見たこともない土の塊（＝山），大きな水（＝海），地面に積もる白いもの（＝雪）を見るのが楽しみ」と語った．

映像４　ブッシュマン・ニカウ

30数度の熱暑気候のカラハリ砂漠から10度前後の肌寒い日本へ訪れたニカウさんにとって，「皮ふんどし」一枚では寒すぎるため，デザイナー・コシノジュンコ女史は彼の来日中の洋服のファッションを引き受けた．ただ，ニカウさんも砂漠で過ごす時は「皮ふんどし」一枚だが，現地でも多少は文化的生活が営まれている都市部に出かける時はシャツとズボンを着用する．土臭くて野暮ったい純情人間のニカウさんは原始的で素朴そのものであり，首までどっぷりと文明にひたっている日本人の間に爽やかなブッシュマン旋風を巻き起こした．

地球最古の人類といわれる南アフリカのブッシュマンは黒人の一種族である．農業・牧畜は営まず，生活の糧は男性の狩猟，女性の植物採集によって成り立つ．狩猟に使う毒矢は猛毒を持つサナギをすりつぶし矢に塗ったもので，象でも倒すことができる．ブッシュマンはグループで生活し，年に数回食糧を求めて移動する．主食は動物の肉や豆類である．５人の妻を持つ10数人の大家族世帯も稀ではない．彼等はカマキリを神と崇めている．腹が減ったら猟に出て，日没後暗くなると眠り，毎日を明るく陽気に過ごす彼等には，受験も心身症，暴走族，老人の孤独，汚職も無縁である．食べて寝て過ごすという５千年前と変わらぬ自然の生活をしている彼等には私有財産の観念も希薄である．

ブッシュマン語は舌を鳴らして音を出し，まるで小鳥がさえずっているような響きを持つ．ブッシュマン語をいくつか記しておこう．カジャ（よし），チットレ（よくない），アルガ（こんにちわ），カウケ（さようなら），フィッシー（あつい），グゥー（水），カオウ（魚）．来日中のニカウさんとのコミュニケーションは，ブッシュマン語から標準語のアフリカンズ，英語，日本語へと３段階通訳によってかわされた．ニカウさんは北海道厚岸郡の「ムツゴロー王国」にも訪れ，畑正憲氏や動物達との感激の対面をはたすとともに，生まれて初めての雪景色を楽しんだ．

ホロビッツ

クラシックファン待望の「幻のピアニスト」ウラジミール・ホロビッツの初公演が'83年６月，渋谷のNHKホールで実現した．定刻きっかりに蝶ネクタイ，燕尾服の老巨匠（78歳）がステージに姿を現した，拍手で迎える3600人の聴衆に軽く会釈し，やがて静かにピアノに向かった．ベートベンの「ピアノソナタ第28番」，シューマンの「謝肉祭」，ショパンの「幻想ポロネーズ」「練習曲第８，19，22番」「英雄ポロネーズ」など予定のプログラムを自在かつ奔放に弾き切り，鳴り止まぬ拍手に応えて，巨匠は数回ステージに現れてハンケチを振った．しかし，アンコールの要求に応えることなく，日本での初公演の幕は閉じられた．

映像５　ホロビッツ

老いたるホロビッツは，若い頃から超絶的な技巧をもって知られていたが，老境に入ってからも冴えたタッチによる華麗な表現力と声学的な響きはやや衰えたにすぎない．1904年にウクライナのキエフに生まれたロシア出身のアメリカのピアニストとして，彼は今なお優れた演奏家の一人である．父は著名な電気技術者，母はピアニストであり，その関係で彼は６歳の時から母にピアノを教えられた．12歳でキエフ音楽院に入学し，アントン・ルビンシュタインの高弟フェリックス・ブルーメンフェルトに師事したが，その時すでに技術的には何も学ぶものはなかったと伝えられる．1932年には，トスカニーニ指揮ニュー

ヨーク・フィルのベートーベン・チクルスに起用され，それが機縁となって翌年にはトスカニーニの娘ワンダと結婚している．このピアニストの音と演奏は独自のものである．彼の音は通常のピアノの常識を越えた鐘のような透明感と輝きを持ち，その色彩の多様さは他に比較するものがない．ホロビッツの最大の特色は，到底レコードでは味わえない音質にある．若き日のホロビッツの演奏には，「大草原からきた旋風」という形容のもとに，ニューヨークタイムズでの次のような批評がある・「原始人の太鼓なのか，あるいは気の狂ったロシアの若者が凄いスピードと迫力で鍵盤を叩いているのか，いずれにせよ，ここには野性の叫び声が聴かれる」――と．

米長邦雄

'83年3月，将棋の第32期王将戦7番勝負の第5局で，米長棋王は4勝1敗の成績で大山康晴王将に勝ち，初の王将位を獲得した．通算20期王将位を保持してきた大山は，その座を対戦相手の米長に明け渡したのである．大山が少年の内弟子時代からたたき上げ，体に「大山将棋」を浸み込ませてきたのに対し，米長は切れ味鋭い天才肌のスカッとした棋風を持つ．そのシャープさが時に裏目に出て，これまで，華やかな棋風の割に握ったタイトルは多くなかったが，今回の王将戦7番勝負に臨んで，米長は終始正座の姿勢を崩さなかった．

映像6　米長邦雄

'43年生まれの彼は，13歳で佐瀬勇次八段に入門し，'71年に棋聖，その後に棋王，王位となり，今回39歳で王将に就位したのである．「さわやか流」のニックネームを持つ棋風だが，将棋以上に人柄が爽やかである．しゃべればウイットに富むセリフがぽんぽんと飛び出し，その軽妙な語りには定評がある．タイトル戦には和服で臨むが，通常はダンディーな姿で将棋界切ってのベストドレッサーである．囲碁，ゴルフ，音楽と趣味も多彩で，彼は「将棋差し」のイメージを現代的な棋士に変えた一人である．

「将棋は忍耐である」「意地っ張り，と言われてもそれが勝負だと思った」と語る言葉の中には，将棋開眼に至る彼の努力のプロセスが表現されている．米長語録を一つ紹介しておこう．「兄弟は頭が悪いから東大へ行ったが，私は頭がいいから将棋界に入った」――このジョークはそのユニークさのために有名である．

ロバート・キャパ

'13年秋，ハンガリーの主都ブタペストでユダヤ人洋服屋の息子として生まれたキャパは，インドシナ戦線を取材中の'54年にハイフォン南方タイービン地区で地雷にふれ爆死するまで，生涯変わらず最前線のカメラアイを貫き通した男である．

'36年にスペイン内乱を取材中，コルドバ戦線で撮った「敵弾に倒れる義勇兵」で一躍有名となり，フォト・ジャーナリストとしての地歩を確立した．硝煙立ちこめる最前線で，塹壕から飛び出した一人の人民戦線兵士が弾丸にはじきとばされて大地に崩れ落ちる瞬間，彼の小型カメラは間髪入れずガシャッとシャッター音を立てた．キャパ23歳の時の写真である．

映像7　ロバート・キャパ

その後，日中戦争，第2次世界大戦と数々の戦線に参加し，時代の証言者としての任務を果たし続けた彼の武器は，古ぼけた一台の小型カメラと劇的一瞬を逃さずシャッターを押す人指し指だけである．消え去る瞬間にこそ真剣勝負をかけた男を人々は他に知らない．人一倍の勇気と人間愛を秘めつつ，次々と発表する作品は世界中の人々に大きな衝撃を与えた．

'54年，アメリカの報道雑誌「ライフ」は，41歳の彼にインドシナ戦線の取材依頼を申し込んだ．周囲の反対にも拘らず，「私の血が行くことを止めないのだ」と言い残し，再び最前戦へと旅立った．戦争の残虐性と無慈悲を強く憎み，それ故に戦争を撮り続けた彼は，しかし二度と戻ることはできなかった．取材中

に脚を吹き飛ばされ，胸に深傷を負ってなおカメラを手離さなかったキャパ，……彼は死の直前まで若い情熱を燃やし続けた男である．

ナチスのユダヤ人迫害を逃れてハンガリーからフランスへ移住し，パリで青年時代を送った彼ではあるが，最近になって，当時住んでいた家の屋根裏から隠されていた貴重なネガが発見されたため，再び写真家としての彼の作品に関係者の目が注がれている．

おわりに

本稿ではFig.2の「Key Words Picture II」の後半部分，つまりブロックV～VIIIのキィーワード30について強い認識のための文章化を行ってきた．別稿（その4）で扱ったブロックI～IVのキィーワードと合わせて全体の総括を行うと，まずキィーワード選定に対する反省点・問題点が浮かび上がってくる．TV番組表のワードにも多様な種類があり，連続ものの番組名，ニュース番組のトピックス，再放送番組，どの放送局のものか――などの点についてこれまで考慮せずに選定してきた．うっかり見逃がしてしまった重要なワードも他にあったかもしれない．ワードの出現頻度だけからでなく，次回からは選定指標ないし基準について工夫を凝らしたいと考えている．ここでは全体のまとめの意味から以下の3点について整理し，しめくくりとする．

1. 現代社会の特徴――TV番組表から析出した60のキィーワードに基づいて，現代社会の特徴を次のようにまとめることができる．エレクトロニクスを始めとする科学技術が急テンポに進展する現代は「第三の波」とも呼ばれる第三次産業革命の時代であり，科学技術の発展に伴う人々の生活の変化も小さくない．とりわけコンピュータの基本原理であるパルスの「ある」「なし」の2進法は，我々の思考スタイルや意識を変化させている．事実がどんどん変化する現代において意識はやむなく変化の対応を迫られているが，パルスの「ある」「なし」の「1」「0」思考は現代人にメリットとデメリットの両面を投げかけている．また試験管ベビーや人工心臓に代表される現代医療科学の進歩は人々に恩恵を与えると同時に，自然の摂理と伝統的な倫理を超える段階へと入りつつある．福井謙一氏の説くように，自然の摂理の範囲内で自然と調和しバランスを保ちながらの進歩であることが今後要請されるだろう．人間は一つの大きなエコロジーの中で生存し得ているからである．教育の問題についてもふれておかねばならない．家庭内暴力，校内暴力など現代青少年のバイオレンス問題に対して，一方の極にはスパルタ的対応としての戸塚ヨットスクール方式があり，他極には精神医学的な治療教育の方式がある．しかし精神医学や教育の権威喪失は，今日の医療と教育のシステムが余りに管理化されすぎたための必然的帰結でもある．管理の徹底化によっては，教育問題は「了解的」に解決されないだろう．今日の教育は知育・徳育・体育に加えて心育が要請されている．心育とは感動の教育であり情熱の教育である．青少年が適切に育つための心育の条件は，「美しい自然」「母親の愛情」「ほどよい貧しさ」というごく当たり前の3つの条件であり，現代社会ではこのいずれもが危機に陥っている．今日こそ，感動できる心，情熱を傾ける心を喚起する心育が子どもたちに必要とされている．

2. TVに登場したオールドパワー――いかなる時代にもその時代と真剣勝負をしていた人物がいる．時代に生まれ，時代を見つめ，時代を変えていった人物がいる．彼等はいずれも，みずみずしい感性とほとばしる情熱を時代を動かす糧としていた．心の若さをパワーとしていた．パワーといえば，「TVに登場した7人の人物」の中にも宇野千代，土光敏夫，ホロビッツとオールドパワーの活躍が目立った．老人介護，寝たきり老人，老人ボケに象徴される高齢化社会における老人問題は現代の一つの大きな社会問題でもある．高齢によって脳が軟化し，知

能低下や精神異常が起こる症状を老人ボケというが，老人性痴呆症患者のボケ治療のために，今日では老いの制御，脳神経，老化防止の研究が盛んである．ミドルエイジ，シルバーエイジの人々もやがては高齢化することを考えると，この問題は他人事ではない．現在の65歳以上人口は総理府統計によると全体の9.8％であるが，この10年間で急激に増加し，21世紀に入ると老齢人口は15％に近づくと推計されている．こうしてボケ老人が社会問題となっている今日，普通なら立派な恍惚の人であるはずなのに「TVに登場した7人の人物」の中にはブラウン管にみずみずしい感性をみなぎらせた3人の人物が含まれている．美しく老いながらもかくしゃくとした彼等の姿は，我々にオールドパワーの魅力を感じさせた．分野は異なっていても，3人はいずれも人生にうらうちされた貫録と迫力を持っている．彼等は「老人福祉はおせっかいだ」と訴えているかのようだ．「今あなたの能力は氷山の一角，真の能力は水中深く隠されている」との宇野女史の表現は，一人一人の人間の永遠なる自己変革の可能性，いくつになっても自己改造を試みることの逞しさが見事に言い当てられている．進行する社会の高齢化の中で，高齢者の生きていくしあわせは，福祉を金銭的保障ないし慈善としてでなく自己実現のための援助としてみなすところからとらえ直さなければならない．

3. TV「情報」と「映像」について――TV「情報」と「映像」のもつデメリットについても整理しておきたい 映像メディアとしてのTVは，その特性上，フィロソフィー（思想）よりも現象を重視する傾向にある．つまり「映像」になりやすいものが番組となるのであり，現象・事象の背後にある本質に照明を与えて欲しいとの希望は，TVに対する「ないものねだり」である．映像のもつ抜群の魅力を駆使して映像コミュニケーションはなされているのではあるが，それは論理よりも情緒に訴える傾向をもつ．このTVのもつ魔性を認識していないと情緒に溺れてTVに呑まれることになる．さらに，我々は常にTV画面の裏側にあるものを探るという批判精神を欠落させてはならない．我々視聴者（受け手）は，情報の送り手によって，操作され料理された情報をキャッチしているからである．端的に言えば，TVカメラのアングル如何によって映像は多様に映るのである．文明の利器TVのおかげで，我々は国内外の様々な情報を居ながらにして知ることができる．しかし，世界の情報を知りすぎた結果，却って世界が見えなくなるというパラドックスにも注意しなければならない．TVはあれもこれもの情報を喧騒と共に我々に与えてくれる．現代の浪費文明はTVのCMによって飽和化されている．TVによって欲望刺激が拡大生産され，我々はさらに強い刺激を求めて刺激飢餓に陥ってしまう．あれもこれもの情報にふり回され方向喪失感さえ味わってしまう．これらのマイナス効果を除去するためには，番組表を通じて視聴番組を取捨選択し，受け手各人がTV情報を鵜呑みにすることなく総合化する技能を獲得しなければならない．大衆のAVメディアとしてのTVは，毎日四六時中さまざまな「情報」「映像」を流しており，スイッチ一つで容易にそれを視聴することができる．この便利さは両刃の剣であり，活用如何によってプラスにもマイナスにもなる．一家団欒の夕食時に家族が語り合うことなく，TVを見ながら黙々と箸を動かす光景は現実にあってはならない．TVはこちら側から主体的に活用したい．TVのもつ魔性とマイナス効果を認識していないと，無感動で受身的となり，想像力が枯死することになる．現代人にとって最も大切な創造的批判精神がTVによってスポイルされてはならない．

参 考 文 献

別稿（その４）に示した1）～19）の参考文献のほか，下記の文献を参考とした.

20) Nanzando's Medical Dictinary—南山堂医学大辞典（第16版），南山堂（1978）

21) 鈴木健二：気くばりのすすめ，講談社（1982）

22) 穂積隆信：積木くずし，桐原書店（1982）

23) 朝日新聞社編：現代人物事典，朝日新聞社（1977）

24) 宇野千代：生きて行く私，上・下，毎日新聞社（1983）

25) M. センダック作，神宮輝夫訳：ケニーのまど，冨山房（1975）

26) 宮野澄：正しきものは強くあれ——人間・土光敏夫とその母，講談社（1983）

27) 土光敏夫：私の履歴書，日本経済新聞社（1983）

28) 音楽の友社編：名演奏家事典（下），音楽の友社（1982）

掲載した写真の出所

映像１　毎日新聞'83年８月１日号，夕刊，毎日新聞社（1983）

映像２　セルマ G. レインズ，渡辺茂男訳：センダックの世界，250，岩波書店（1982）

映像３　読売報道写真集 1983，表紙，読売新聞社（1983）

映像４　週刊女性自身'83年８月11日号，34，光文社（1983）

映像５　音楽の友'83年８月号，80，音楽の友社（1983）

映像６　将棋世界'83年５月号，グラビア写真，日本将棋連盟（1983）

映像７　毎日新聞'83年７月11日号，毎日新聞社（1983）